

2025年5月29日

京急電鉄と THE WHY HOW DO COMPANY が 共同で「新しい価値」の創出を推進

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）と THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社（本社：東京都新宿区，代表取締役社長：岩尾 俊兵，以下 ワイハウ）は、新規事業創出および既存事業の価値向上を目的として、業務委託契約を締結し、「新しい価値」の創出を推進いたします。

京急電鉄は、第20次総合経営計画の中で、「沿線価値共創戦略」として、あらゆる交通手段を用いた移動環境の最適化を行う【移動】と、都市機能の更新や生活支援を行う【まち創造】の2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルアップにより、お客様が求める価値観を実現する「新しい価値」の創出を図り、持続的に発展する沿線の実現を掲げております。

これまで社会や暮らしの変化に常に寄り添いながら、沿線地域の発展を目指して事業活動を拡大する中で、移動やまちづくりに関するノウハウを積み上げてまいりました。

ワイハウは、「価値創造経営の力で、もう一度豊かになる」を理念に掲げ、経営科学，ICT・AI等のデジタル技術を融合した、総合的なコンサルティングサービスを提供しています。

今回の契約により、京急電鉄とワイハウは、両社の強みとノウハウを活かし、「京急沿線エリアの地域資源を活用した新規事業の創出」「京急グループ企業間の連携強化による総合力の発揮」をテーマに掲げ、共同で「新しい価値」の創出を目指します。

参 考

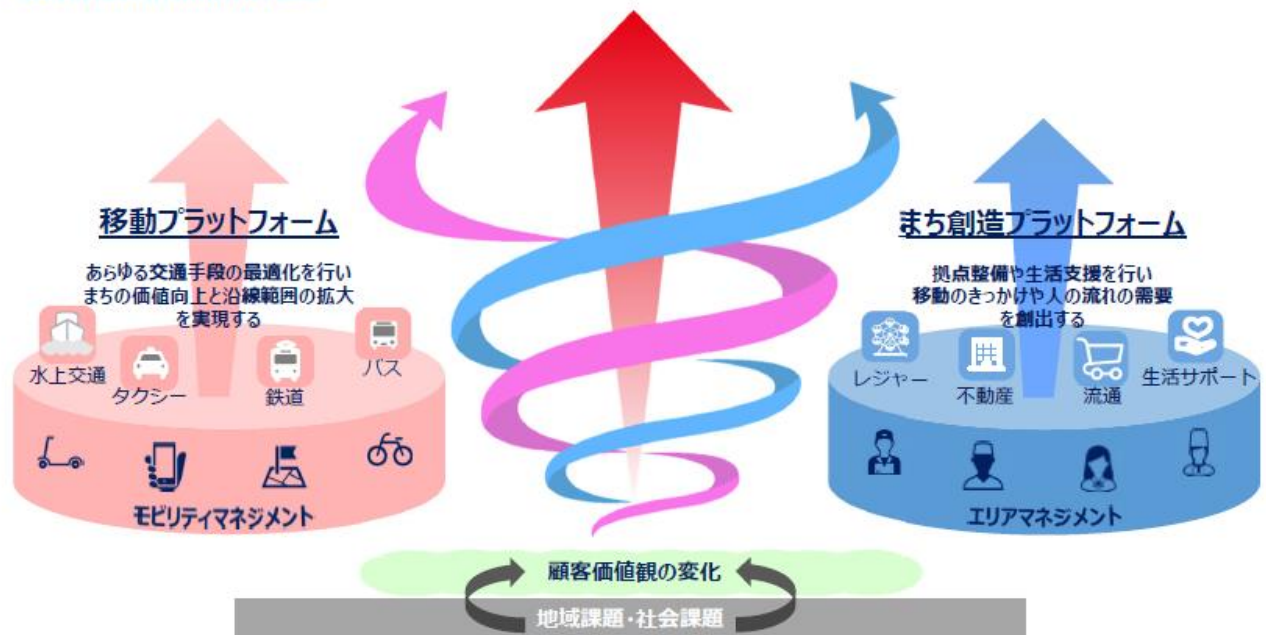
1. 京急電鉄「沿線価値共創戦略について」

京急電鉄は、京急グループ第20次総合経営計画にて掲げる長期ビジョン「【移動】と【まち創造】2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルにより持続的に発展する沿線」の実現に向け、2024年5月に「沿線価値共創戦略」（以下 本戦略）を策定しました。

また、京急グループが目指す新たな沿線まちづくりの形として、これまでの都心と郊外の二極構造のまちづくりではなく、沿線のなかに「住／働／楽／学」機能が揃う中核拠点を複数配置し、一極集中型の輸送モデルから地域間をつなぐ交通網の整備による「多極型まちづくり」を目指しています。

本戦略のもと、「移動プラットフォーム」では、MaaS基盤の整備等を通じた新たな移動需要を創出し、「まち創造プラットフォーム」では、エリアマネジメント活動を推進することで地域の賑わいとつながりを強化し、外部を巻き込んだ地域内の共創を目指していきます。

▶ 沿線価値共創戦略の概念図



2. 京急電鉄「移動とまち創造プラットフォームの事業方針と施策のポイント」



3. ワイハウ「コンサルティングサービスの内容」

(1) 価値創造コンサルティング

ワイハウ社長岩尾俊兵（慶應義塾大学准教授）が提唱する「ビジネスモデル囲碁」「滞留理論」「価値創造の三種の神器」「経営不振因果マップ／経営成功因果マップ」を活用し、京急電鉄の保有資産や強みを活かした革新的なビジネスモデルを設計。

(2) 経営資源の効率的活用支援

「滞留理論」を活用した新たな価値創出の仕組みを構築。

4. 京浜急行電鉄株式会社について

京浜急行電鉄株式会社は、グループ理念である「都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する」を使命として、社会課題、価値観の多様化に対し、「移動」と「まち創造」の両事業（プラットフォーム）が相互に価値を提供しあい、新しい価値を創出することで対応し、地域と京急グループの持続的な発展を目指しています。

所 在 地 神奈川県横浜市西区高島 1 丁目 2 番 8 号

取締役社長 川俣 幸宏

U R L <https://www.keikyu.co.jp/>

5. THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社について

「WHY（我々はなぜ生きているのか）」と「HOW（どのように生きるのか）」を追求し、企業の持続的な成長と社会への新たな価値創出を支援する企業です。子会社の運営を通じて得たノウハウを基にした「泥臭い」経営コンサルティング、「泥にまみれてお客様の期待に応える」新規事業の立ち上げ支援、「一緒に泥をかぶる」子会社への経営指導など、多岐にわたるサービスを提供しています。

所 在 地 東京都新宿区愛住町 22 第 3 山田ビル

代表取締役社長 岩尾 俊兵

U R L <https://twhdc.co.jp>